

【 令和6年度 多職種連携研修計画 】（案）

目的（テーマ）	内容	形式				主催／共催	定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル			
(1) 相互理解の促進	①医療関係者向け研修 （仮）退院後、施設でどういった生活をしているか知っていますか？	中規模	座学講義 （キャラバン方式）	医療関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンターと共催	100名程度	令和6年5月、8月、 令和7年2月
	②介護関係者向け研修 （仮）急性期病院の事情について～思いやりのある連携～	中規模	座学講義	介護関係者	初級～上級	ほくと・ななえセンターと共催	100名程度	令和6年5月、8月、 令和7年2月
	③ オープンカンファレンス	中規模	対話体験型（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	未定	100名程度	適時
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	—	—	—	—	—	—	令和6年6月頃
(2) 連携強化	①連携強化 「第9回函館市医療・介護連携多職種研修会」 （仮）「地域でつなげようACPの輪」～この地域でのACP連携を目指して～ ※情報共有ツール作業部会と協働	大規模 （国際ホテル）	対話体験型 （シンポジウム・GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほくと・ななえセンターと共催	200～300名程度	令和6年10月19日（土） 14時～17時
	②入退院支援 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」※退院支援分科会との協働	小規模	対話体験型 （GW）	実務者	中級～上級	主催	40名程度	適時
	「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」※情報共有ツール作業部会との協働 （大規模研修において開催）	※大規模研修会と同様						
	③急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 「急変時対応研修会（仮）」	中規模	対話体験型 （シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	ほくと・ななえセンターと共催	100名程度	適時
(3) 多職種連携への理解の促進	各種出張講座等	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	各団体・各機関との共催	30名程度	随時
(4) 人材育成	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	—	数名	随時